第２号様式（第６条関係）

令和８年　４月１４日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（単独、団体協働事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　　特定非営利活動法人　共同生活推進協議会

代表者職・氏名　理事長　森嶋　英樹

所在地　[redacted]

補助種別	■　単独事業補助 □　団体協働事業補助	
新規・継続	■　新規	□　継続（　　年目）
事業名	Toda　Halloween　Groove　Fes　2026（略称：THGF2026）	
実施期間	令和８年　５月　１日　～　令和８年１１月３０日	
確定前交付の希望	■　希望する	□　希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	
	E-mail	[redacted]

≪団体の概要≫

団体名	特定非営利活動法人 共同生活推進協議会
ホームページ	http://sites.google.com/view/kyoudouseikatsu/
設立年月日	平成２６年　１１月　１４日　　設立
会員数	30 人
年会費	3,000 円／１年間
団体の目的	広く一般市民を対象として、共同生活の推進ならびに社会福祉の増進を目指し、相談事業、シンポジウム等の研修事業ならびに必要な調査研究事業を通じて社会全体の福祉の増進を目指し、充実した福祉社会のまちづくりに寄与する事。
主な活動実績	・埼玉県ＳＤＧｓパートナー 第 127 号 ・ベビーカーコンサート開催（戸田市及び浦和区） ・清掃ボランティア（戸田市谷口公園他） ・とだハピ祭出展団体ボランティア（上戸田地域交流センター） ・「火の用心」防犯啓発パトロール（戸田公園駅他） ・「トダゴスペルクリスマス」会場の清掃（戸田駅西口広場） ・「川口本気祭り」設営補助ボランティア（飛島ﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞｶﾚｯｼﾞ） ・わくわく浦和区フェスティバル（浦和コミュニティセンター）
昨年度の補助金等の援助状況	無し。
団体ＰＲなど	様々な社会問題(孤独、鬱、少子高齢化など)を解決する為に、我々にできる事は何かと考えた時に、やはり地域のまちづくり創生、創出だとの想いがあり、広意義に「共同生活」を推進する活動を 10 年以上、一貫として活動している。

≪事業企画書≫

1　事業の目的・必要性

今回提案する事業は音楽イベントです。
近年人気の高い DJ 文化と、国民的行事となったハロウィンを掛け合わせ、ボートレース戸田内のイベントホールを「新しい文化発信の場」として有効活用し、多くの方に幸せな空間を提供。

2　事業を実施するに当たっての現状や課題

現状 国は、芸術・文化を通じたまちづくりにも力を入れており、戸田市においても更なる活性化が求められ、経済活動とコラボレーションした芸術・文化活動が、草の根的に市民に浸透してきています。
課題として、芸術・文化活動の場や発表する機会が少なく、更なる拡充や提供が求められています。

3　事業の具体的内容

名称：Toda　Halloween　Groove　Fes 2026（略称:THGF2026）
日時：令和８年 10 月 31 日（土）11:00～16:00
会場：ボートレース戸田（イベントホール）
対象：市内住勤者および近隣住民（未就学児～一般）
定員：400 名（一部 1F, 2F 席除く）
入場：無料
【タイムテーブル】
11:00～は、ｱﾆﾒｿﾝｸﾞや J-POP 中心、音量を抑え、親子で楽しむ。
12:00～は、70～90 年代の洋楽・邦楽で、ｼﾆｱ・ﾐﾄﾞﾙ世代をﾀｰｹﾞｯﾄ。
13:00～は、最新のﾀﾞﾝｽﾐｭｰｼﾞｯｸによるﾒｲﾝﾊﾛｳｨﾝ演出。
【特設コーナー】
地元ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる装飾、地元美容学生によるﾌｪｲｽﾍﾟｲﾝﾄ、子供達にお菓子配布。

4　事業の実施体制

【制作・事務チーム】（２名）
ﾀｲﾑﾃｰﾌﾞﾙ, 出演者連絡, 機材手配, 予算管理, 交渉, ﾄﾗﾌﾞﾙ処理, 法務, ﾘｽｸ, 収支報告。
【運営・集客チーム】（２名）
会場ﾚｲｱｳﾄ, ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ管理, 設営, 警備誘導, SNS 運用, WEB ｻｲﾄ制作, ﾎﾟｽﾀｰ印刷, 広報。
【当日スタッフ】（１０名）
入場整理、楽器運搬、ステージ転換、清掃、喫煙管理等。

5　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
７月１日	告知開始。
７月～８月	協賛企業獲得の為の営業。
８月～９月	出演者募集、（オーディション）、決定。
９月１５日	タイムテーブル決定。
１０月１日	演奏リハーサル。
１０月１５日	各所最終打合せ。
１０月３１日	本番

6　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

来場者数は４００人を目標とし、「イベントに参加して良かった。」と感じていただける事業とする。
また、参加者の声としてアンケート用紙を配布・回収し、本イベントの感想やご意見を確認。

7　今後の展望

反省点・改善点を総括し、来年も引き続き「ＴＨＧＦ2027」を開催し、更なる地域に貢献したい。

≪**収支予算書**≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	200,000	
	その他	0	
自己資金		102,387	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		200,000	(10,000 円×20 社)
その他		0	
合　計		502,387	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳	
補助対象経費	謝礼金	150,000	MC、DJ、ダンサー (30,000×5 グループ)	
	交通費	20,000	移動交通費	
	消耗品費	20,000	紙、インク、文房具等	
	印刷製本費	178,596	チラシ、ポスター、フライヤー、POP	
	保険料	5,000	イベント保険	
	備品費	20,000	ハロウィン装飾	
	使用料	8,791	JASRAC 著作権使用料	
小　計		402,387	内訳	補助金申請額：200,000
				自主財源：202,387
補助対象外経費	交通費	50,000	ガソリン	
	備品費	50,000	撮影機器	
小　計		100,000		
合　計		502,387		